

津軽地方で初の盲導犬貸与

三上さんと盲導犬ジャンヌ
が町長を表敬訪問

県内では4頭目、青森市を除く津軽地方で初となる盲導犬の貸与を受けた三上慎太郎さん(今泉上)が盲導犬協会仙台訓練センター職員と共に、12月2日(火)小野町長を表敬訪問しました。

訪問は、盲導犬普及キャラバンとして、盲導犬の育成と活動、目の不自由な人が社会参加できる環境・地域づくりへの呼びかけを目的に行われました。

訓練センター職員の話では、盲導犬になるまで訓練を1年～2年行い、年15頭程度が新たに活躍し始めるそうです。社会へ出る前には、三上さんのような新規ユーザーと4週間にわたり、合宿し寝泊まりを共にして訓練するそうです。

町長との懇談で、三上さんは「首都圏で生まれた相棒の盲導犬ジャンヌは、初めて雪の降る冬を迎える。心配はあるが、だんだん慣れてくれることを願っている。ま



小野町長と懇談する三上さん

た、津軽地域は盲導犬がいなかったこともあり、その理解は残念ながらまだまだ少なく、入場できなかった施設も多くある。今後もPR活動など通じて地域のみなさんへの理解を広げていきたい」と話しました。これに対して、町長は「町としても盲導犬などを補助する犬について、町民、職員に対して周知するなど協力していきたい」と伝えました。

最後は、秋元副町長がアイマスクを装着し、盲導犬のPR犬ベラと歩行体験を行いました。体験後、副町長は「歩いてみると安心感があつた。しっかりエスコートしてくれた」と盲導犬の仕事ぶりに感心していました。

来年度からは、町内外の学校や施設でPR活動をしていくそうです。「ほじょ犬」ステッカーのある施設は、盲導犬などの人を補助する犬との同伴が可能です。



盲導犬と歩行体験

学校帰りが楽しみ

中里高校玄関に
イルミネーション

ふるさと
納税
ありがとうございました

〈東京都〉
横内 正典様
寄附金額 五百万円

中里高校では、12月10日(水)同校玄関前の植木に飾り付けたイルミネーションの点灯式が行なわれました。

この点灯式は生徒会が企画しているものです。柏谷妃呂佳生徒会長は「みなさん今日は寒中、集まってくれてありがとう。これから学校の帰りに楽しみができました。協力ありがとうございました」とあいさつしました。

その後は、生徒や教員たちが点灯前のイルミネーションの前を囲んでカウントダウン。学校の照明を消してからの点灯は、数色のLED照明が一際輝いていました。

